



むげんだい 大限夢

平成27年11月17日(火) vol.27

紅葉(こうよう)のきれいな季節になりました。一般的には、植物の葉が落葉に先だって赤に変わることをいいます。みなさんもよく知っているカエデがその代表ですね。また、葉が黄色になることも黄葉(こうよう)と呼ぶそうです。イチョウやポプラなどが有名ですね。これらをあわせて「もみじ」というそうです。へえ～



職員玄関前のカエデの木

「秋の夕日に照る山紅葉」[♪]と昔から唄い継がれている「もみじ」の曲。作詞者の高野辰之は、碓氷峠(群馬県と長野県の県境)から紅葉を眺め、その美しさに惹かれてこの詞を作ったといわれています。また、小倉百人一首には「奥山に紅葉踏みわけ鳴く鹿の声きく時ぞ秋は悲しき」という和歌があります。「人里離れた奥山で、一面散り積もった紅葉の枯れ葉を踏み分けながら、恋の相手を求めて鳴く雄鹿の声を聞くときこそ、秋の悲しさはひとしお身にしみて感じられるものだ」という意味です。

もみじを見ていると、何となく哀愁が漂い、冬の到来が近いことを感じさせられます…。

「誰かのため」だったら諦めない!

クロスカントリースキーの元日本代表選手、新田佳浩さんの記事を紹介しします。

新田さんは、岡山県西粟倉村^{ニッポウ}という、冬場は雪の多い山あいの村に生まれた。家は代々続く米農家だ。3歳の時、おじいちゃんが運転する農耕具のコンバインに左手を巻き込まれ、肘から先を失った。以来、障がい者としての運命を背負うことになる。翌年の4歳からスキーを始めた。小学校に入るとクロスカントリースキーに夢中になった。3年生の時に初めて参加した地元の大会で優勝。その後、県大会でも優勝するなど、小学校卒業するまで4つの優勝トロフィを手にした。しかし、中学になって壁にぶち当たった。両手でストックを使う健常者の選手に勝てなくなったのだ。最初の挫折だった。中学3年の時、スキーをやめた。



転機は高校1年の時訪れた。2年後に迫った長野パラリンピックの関係者が出場を勧めに来たのだ。健常者と競ってきた新田さんは、障がい者スポーツに興味を示さなかった。しかし、関係者に見せられたビデオに釘付けになった。新田さんと同じ左手のないドイツの選手が障がい者とは思えない速さで滑っていた。元々実力のあった新田さん、長野パラリンピックでは8位、翌年の世界選手権で優勝、そしてソルトレイクパラリンピックでは銅メダルを獲得した。4年後のトリノパラリンピックでの金メダルは確実視されていた。そのためにスタッフは、新田さんの身体のハンディを科学的に分析し、腰の高さ、膝の角度など、右手一本でも健常者並にスピードが出るフォームを3年かけて作り上げた。確実に金メダルに向かっていた。

そして迎えた3度目のオリンピック、トリノ大会。競技中、考えられないアクシデントが起こった。バランスを崩して転倒してしまったのだ。片手なのですぐに起き上がれなかった。大敗だった。トリノから自宅に戻った新田さん、家に引きこもってしまった。家にはおじいちゃんがいた。自分の運転するコンバインで、可愛い孫が片腕を失った。事故直後、息子であり、新田選手の父親である茂さんにおじいちゃんはどう言った。「この子と一緒にわしは死ぬ。」その後もずっとおじいちゃんは自分を責め続けてきた。そのことをいつしか新田さんも気づくようになった。家の中にいるおじいちゃんを見て、目的を見失っていたことに気づいた。目標はいつも「金メダル」だった。しかし、何のための金メダルなのか忘れていた。以前、金メダルを取っておじいちゃんに掛けてあげて、「おじいちゃんは俺にとって最高のおじいちゃんだよ。」と言ってあげることが夢だったことを思い出した。

「目標は金メダル、目的はおじいちゃんのために」を胸に、新田選手は4度目のパラリンピック、バンクーバー大会に挑んだ。29歳になっていた。そして、10kmコースと1kmコースで、2個の金メダルを獲得し、凱旋した。実家に戻った新田選手は、92歳になったおじいちゃんの首に2個の金メダルを掛けた。

以前、この通信(vol.22)でも取り上げた、「目標」と「目的」の違いに気づいた人もいることでしょう。何かに挑戦しようとするとき、「誰かのために」という目的があると、人は諦めません。すごい力を発揮するのです。きっとこれを「愛の力」と呼ぶのでしょう。

★キラキラ輝く中学生★

先週、1年生では「人権学習」、2年生では「性教育」、3年生では「国際理解学習」が行われました。中学生ともなれば、教科の学習はもちろんのことですが、それ以外にも自分の将来にとって大切なことを色々と学習します。これからも「道徳」や「総合」の学習の時間を通して、様々な問題に興味を持ち、よりよい「生き方」を目指し、自分を見つける貴重な時間にしていきましょう!

1年生が作成した「僕の私の人権宣言」を教室や廊下に掲示しました。是非、その作品に込められた思いに触れてみてください。

